

=====

HITACHI エンタープライズサーバ EP8000 シリーズ マシンコード更新手順

=====

DAT ドライブ/DAT オートローダ/DLT ドライブ/CD-ROM ドライブ Firmware ダウンロード共通
手順書

バージョン DAT ドライブ : C209
DAT オートローダ : H211
DLT ドライブ : 0255
CD-ROM : 1_06

目次

- 1.対象装置
 - 2.Firmware ダウンロードに関する注意
 - 3.ダウンロード時間
 - 4.Firmware ダウンロード後のシステム・リポートについて
 - 5.事前 Firmware レビジョン確認
 - 6.システムへの Firmware 関連ファイルコピー
 - 7.Firmware ダウンロード方法
 - 8.ダウンロード 後の Firmware レビジョンの確認
 - 9.終了作業
-

はじめに

本手順書は、DAT ドライブ、DAT オートローダ、DLT ドライブおよび CD-ROM ドライブの
Firmware を最新レビジョンに更新するための手順書です。

お客様御自身で最新の Firmware に更新することをお勧めします。

1.対象装置

装置名	形名(品名)
DAT ドライブ	THE-70xxFC6158 (DAT 装置(DDS-4))
	THE-70xxFC6185 (DAT 装置(DDS-4))
	THE-7206-220 (7206 DAT 装置(DDS-4))
	THE-7212FC1100 (DAT 装置(DDS-4))
DAT オートローダ	THE-7332-220 (7332 DAT オートローダ)
DLT ドライブ	THE-7205-440 (7205 テープ装置 440)
CD-ROM ドライブ	THE-70xxFC2624 (CD-ROM 装置)
	THE-70xxFC2628 (CD-ROM 装置)
	THE-7212FC1101 (CD-ROM 装置)

2.Firmware ダウンロードに関する注意

- (1) 本作業中は当該装置に対するホストからのアクセス厳禁です。Firmware ダウンロードがホストアクセスと競合すると Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。このため、本作業開始前に NetBackup 等のバックアップ・アプリケーションのデーモンを停止して下さい。(“7.Firmware ダウンロード方法”を参照して下さい。)
- (2) Firmware ファイルをシステムに ftp する場合、必ずバイナリで ftp して下さい。ASCII にて ftp したファイルをドライブにダウンロードすると、Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。
- (3) Firmware ファイルは当該装置およびお客様の Firmware レビジョンによって使い分ける必要があります。(“6.システムへの Firmware 関連ファイルコピー”を参照して下さい。)
- (4) システムにコピーし解凍した Firmware 関連ファイルの内、“*.dsdata.*”という名称がついているファイルは、装置毎かつ更新前のレビジョン毎に内容が異なります。異なる装置の Firmware をダウンロードする場合は、その都度"dsdata"ファイルへコピーをして下さい。
- (5) ドライブにテープ/CD 等の媒体が挿入されている状態でダウンロードしないで下さい。Firmware ダウンロードの実施前には、ドライブから媒体を取外しておいて下さい。
- (6) ダウンロード中は、当該装置のオペレータ・パネルを操作しないで下さい。
- (7) Firmware ダウンロード中に電源を off しないで下さい。ドライブに損傷を与え、交換を余儀なくされる場合があります。
- (8) ダウンロード完了時、コンソール上では実際にダウンロードが完了する前にダウンロード完了したかのように表示されます。ダウンロード完了の表示がされても、ドライブのアンバー色 LED の点滅が終了するまでは、媒体を挿入することや、当該装置の電源を off することなど、如何なるアクションも実施しないで下さい。

3.ダウンロード時間

一般的なダウンロード時間は0.4 hr/ドライブです。

4.Firmware ダウンロード後のシステム・リポートについて

システム・リポート,当該装置の P.OFF/ON 共に不要です。

5. 事前 Firmware レビジョン確認

既に最新レビジョンの Firmware である場合は作業不要です。以下に Firmware レビジョンのチェック方法を示します。

当該ドライブ・スペシャルファイル(テープの場合は rmt*, CD-ROM の場合は cd*)に対して以下のコマンドを実行します。

```
【入力例】# lscfg -vl rmt0    (DAT, DLT の場合)
            # lscfg -vl cd0    (CD-ROM の場合)
```

上記コマンドを実行すると、以下の出力結果が得られます。テープの場合は "Device Specific. (Z1)" を、CD-ROM の場合は "ROS Level and ID" を御確認下さい。

【出力例 1 : DAT ドライブの場合】

```
rmt0          40-60-00-0,0    SCSI 4 ミリ・テープ機構 / 装置 (20480MB)

Manufacturer.....HP
Machine Type and Model.....IBM-C568303030!D
Device Specific. (Z1).....C209
Serial Number.....31042897
Device Specific. (LI).....A1700292
Part Number.....19P0798
FRU Number.....19P0802
EC Level.....H27417
Device Specific. (Z0).....0180020283000038
Device Specific. (Z3).....L1
```

【出力例 2 : DAT オートローダの場合】

```
rmt1          40-61-00-0,0    7332 4mm Auto Loader SCSI Tape Device

Manufacturer.....HP
Machine Type and Model.....IBM-C571303030
Part Number.....35L1170
EC Level.....D19416
FRU Number.....35L1199
Device Specific. (Z1).....H210
Device Specific. (Z0).....0180
```

【出力例 3 : DLT ドライブの場合】

```
rmt5          30-61-00-0,0    差動型 SCSI DLT テープ機構 / 装置
                                     (40000 MB)

Manufacturer.....QUANTUM
Machine Type and Model.....DLT8000
Device Specific. (Z1).....0255
Serial Number.....B40P5038
Device Specific. (LI).....A17002A3
Part Number.....19P2026
FRU Number.....19P2042
EC Level.....H27532
Device Specific. (Z0).....0180020283000138
Device Specific. (Z3).....
```

【出力例 4 : CD-ROM ドライブの場合】

```
cd0          40-60-00-1,0    16 ビット SCSI マルチメディア CD-ROM ドライブ
                                     (650 MB)

Manufacturer.....IBM
Machine Type and Model.....CDRM00203
ROS Level and ID.....1_06
Device Specific. (Z0).....058002028F000038
Part Number.....04N2964
EC Level.....F73113
FRU Number.....97H7796
```

6. システムへの Firmware 関連ファイルコピー

(1)/tmp ディレクトリーに Firmware 関連ファイルをコピーして下さい。

【注意 1】 Firmware 関連ファイルをシステムに ftp する場合、必ずバイナリで ftp して下さい。 ASCII にて ftp したファイルをドライブにダウンロードすると、Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。

【注意 2】 下表に従って Firmware 関連ファイルをコピーして下さい。 Firmware ファイルは当該装置およびお客様の Firmware レビジョンによって使い分ける必要があります。

Firmware ファイル一覧

装置名	現在の Firmware レビジョン	更新先 Firmware 関連ファイル	tar file Check sum	Firmware 本体 Check sum
DAT ドライブ	C003	dat_C209_1.tar	60760	10342
	C003 以外	dat_C209_2.tar	60356	10342
DAT オートローダ	H003	7332_h211_1.tar	00340	50665
	H003 以外	7332_h211_2.tar	43389	50665
DLT ドライブ	-	7205_0255.tar	26825	62995
CD-ROM ドライブ	-	cd_1_06.tar	26295	07885

(2)コピーしたファイルの Check sum を確認します。sum の値が上記の Firmware ファイル一覧に示す期待値と同じ値であることを確認してください。

【入力例】# sum /tmp/dat_C209_1.tar
60760 370 /tmp/dat_c209_1.tar

(3)コピーしたファイルを下記コマンドで展開して下さい。

【入力例】# tar -xvf /tmp/dat_c209_1.tar

(4)展開したファイルの Check sum を確認します。sum の確認は、Firmware 本体のファイル (IBM***...及び DLT***...) について行います。sum の期待値は上記の Firmware ファイル一覧を参照ください。Check sum が期待値と異なった場合は、絶対に Firmware のダウンロードを行なわないでください。

【入力例】# sum /tmp/IBM-C568303030.C209.00000201
10342 335 IBM-C568303030.C209.00000201

(5)解凍したファイルの内、".dsdata.*"という名称がついているファイルを"dsdata"というファイル名でコピーして下さい。解凍されたファイルが元々"dsdata"というファイル名の場合は、この作業は不要です。

【入力例】# cp /tmp/dsdata.C003 /tmp/dsdata (DAT の場合)
cp /tmp/DLT8000.0255.A17002A3.dsdata /tmp/dsdata (DLT の場合)

【注意】 ".dsdata.*"という名称がついているファイルは、装置毎かつ更新前のレビジョン毎に内容が異なります。異なる装置の Firmware をダウンロードする場合は、その都度"dsdata"ファイルへコピーをして下さい。

7.Firmware ダウンロード方法

- (1) **【ダウンロード前の準備】本作業中は当該装置に対するホストからのアクセス厳禁です。**
Firmware ダウンロードがホストアクセスと競合すると Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。**NetBackup 等のバックアップ・アプリケーションのデーモンが停止しているか、再度御確認して下さい。**
尚、NetBackup に関しては以下のコマンドを実行することでデーモンの停止を確認可能です。

【入力例】# /usr/opensv/volmgr/bin/vmps 何も出力されないことを確認して下さい。

- (2) /tmp ディレクトリに移行します。

【入力例】# cd /tmp

- (3) 下記コマンドを実行します。

【入力例】# ./cpcat

- (4) ドライブ・スペシャルファイル(テープの場合は rmt*, CD-ROM の場合は cd*)に対して下記コマンドを実行し、Firmware ダウンロードを実施します。

【入力例】# ./genucode -s rmt* (DAT, DLT の場合)
 # ./genucode -s cd* (CD-ROM の場合)

- 【失敗例 1】存在しないドライブ・スペシャルファイル(rmt*または cd*)を指定した場合、下記メッセージが表示されます。ドライブ・スペシャルファイル(rmt*または cd*)を再確認して下さい。

```
# ./genucode -s rmt20
Open failed: No such file or directory
```

- 【失敗例 2】他のプロセスで当該ドライブを使用している場合、下記メッセージが表示されます。ホストからアクセスされていないか再度確認し、これが停止した後にダウンロードを実施して下さい。

```
# ./genucode -s rmt0
Open failed: Resource temporarily unavailable
```

【注意】 Firmware ダウンロード中に絶対に電源を off しないで下さい。ドライブに損傷を与え、交換を余儀なくされる場合があります。

- (5) 下記メッセージが表示され、ダウンロードが正常終了していることを確認します。

【出力例】 Device rmt0 was successfully updated from C009 to C209. (DAT の場合)
 Device cd0 was successfully updated from 05 to 06. (CD-ROM の場合)

合)

- (6) ドライブのアンバー色 LED が消灯していることを確認します。
ダウンロード完了の表示がされても、ドライブのアンバー色 LED の点滅が終了するまでは、媒体を挿入することや、当該装置の電源を off することなど、如何なるアクションも実施しないで下さい。

8. ダウンロード後の Firmware レビジョンの確認

- (1) VPD(Vital Product Data)情報を更新するために、以下のコマンドを実行します。ドライブ・スペシャルファイル(テープの場合は rmt*, CD-ROM の場合は cd*)に対して下記コマンドを実行し、一旦"定義済"にします。

```
【入力例】# rmdev -l rmt*    (DAT,DLT の場合)
            # rmdev -l cd*     (CD-ROM の場合)
```

ドライブ・スペシャルファイル(テープの場合は rmt*, CD-ROM の場合は cd*)に対して下記コマンドを実行し、"使用可能"にします。この時に最新 Firmware レビジョンが VPD 情報に反映されます。

```
【入力例】# mkdev -l rmt*    (DAT,DLT の場合)
            # mkdev -l cd*     (CD-ROM の場合)
```

- (2) “ 5.事前 Firmware レビジョン確認 ” と同一の手順を実施します。

9. 終了作業

下記コマンドを実行して、システムから Firmware ダウンロードに使用したファイルを削除します。

```
【入力例】# rm IBM-C568303030.C209.00000201 dsdata.C003 dsdata cpcat
            gencode.cat gencode dat_c209_1.tar
```

株式会社 日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 2006年2月

(c) Hitachi, Ltd. 2006, All rights reserved.